### 令和5年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和4年度)

### ●基本情報

事業名(取組名) 利根町観光協会補助金							評価番号	4-3-8-1 • 2 • 3		
	担当課 まち未来創造課 係 商工観光係						□ 予算なし			
	基本方針	【4】みんなが集まるおもしろいまちづくり			予	会計	プルダウンから選択			
	基本施策	【3】活気あふれる交流・観光の推進				款	【4】みんなが集	まるおもしろいまちづくり		
基本	施策	【8】イベントの充実		科目	項	【3】活気あふ	れる交流・観光の推進			
計画	主な取組	①町民納涼花火大会の開催				目	【8】イベント	の充実		
		②地域活性化イベントの推進				事業	利根町観光協会	補助金		
		③「とねりん」の積極的	な活用							

## ●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<ul><li></li></ul>	名称					
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	✓ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終 <sup>-</sup>	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ			
実施手法	□ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等						
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定管理 ☑ 事務局 □ その他(						
実施形態	✓町単独  ✓国・県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	)			
事業概要	利根町観光協会と連携する。	し,観光資源や地	域資源のPR,にぎわい創出の	かためのイベントを開催			

### ●実施 ~D0~

利根町観光協会の事業運営に資するため町から補助金を交付した。 令和4年度利根町観光協会が実施した主な事業 ・TONE LOTUS FES - 連祭 - 2022 ・第45回利根町民納涼花火大会

- 事業 業績

- ・第4回トネマチ冬まつり ・イルミネーション設置・点灯

	主な歳出の節		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)	
	内	18 負担金,補助及び交付金	3, 090, 500	円	2, 162, 828	円	3, 678, 599	円
支出				丑		円		円
				円		円		円
	訳			円		円		円
				円		円		円
				円		円		円
	事業費計		3, 090, 500	円	2, 162, 828	円	3, 678, 599	円
	主な歳入の科目							
		主な歳入の科目	令和2年度(実績)		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)	
		主な歳入の科目 国支出金		円	令和3年度(実績) 0	円	令和4年度(実績) 0	円
				円円				
財	内	国支出金				円		円
財源	内訳	国支出金	1, 388, 000	円		円円		円円
	内訳	国支出金 県支出金 受益者負担金	1, 388, 000	円円	0	円 円 円	0	円 円 円
	内訳	国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	1, 388, 000 1, 215, 500 400, 000	円 円 円	1, 418, 446	円 円 円	993, 599	円 円 円

# ●評価 ~CHECK~

妥当性		•	) 貢献している					
	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		イベント等の実施に対する支援を行うことで、観光事業の推進と地域の活性化を図ることができているため、目的の達成に 貢献している。					
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	○ 妥当である ○ 見直す余地がある ○ 見直す余地がある ○ 観光協会の運営は、町の補助金を主な財源としていることから、観光事業を効果的に推進するためには、町の関与は妥当だと考える。					
		0	◇ 見直す余地がある					
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	より効果的な観光事業の創出に向けた検討を行うとともに、 観光協会についても、自主財源の確保につながる取り組みを推 進することで成果の向上を図ることができる。					
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		可能性がある ● 可能性がない					
有 効 性			町の観光事業の推進に不可欠な事業であるため廃止・休止の 可能性はない。					
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない					
			観光協会は、観光事業推進を目的とした唯一の団体であるため統廃合はできないが、地域資源を活用した観光PR、町のにぎわい創出は、観光協会だけでなく、他の町民団体など、多くの方々との連携・協力を得ることでより良い成果が期待できる。					
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。		余地がない ● 余地がある					
			これまで長年に渡り実施している事業内容の抜本的な見直しや, 自主財源の確保, 新たな手法を積極的に取り入れることでコストをかけずに成果を上げる余地はある。					
公 平 性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。		) 適正である					
			)受益者負担を求める事業ではない 知业均分は、町からのは助会をきな財源し、て活動している。					
			観光協会は、町からの補助金を主な財源として活動しているが、今後は、グッズ販売やイベント時における参加費の徴収、 新規企業会員の獲得など、自主財源の確保についても検討していく。					

# ●改善 ~ACTION~

	継続 ( ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大 ) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
の	【理由】  多くの方が楽しめるようなイベントを実施するためには、多くの町民、団体などが町に興味・関心を深め、町の魅力を実感し、参画意識を持つことが重要である。 今後もイベントを実施する際は、観光協会会員を中心に実行委員会を立ち上げ、会員のまちづくりに関する意識の醸成を図ると共に、観光事業の推進と地域の活性化に努めていく。